



市川篤《月影の軌道》2016年 作家蔵 撮影：市川篤

北陸のガラス作家たち

多様化するガラス造形

Glass Artists from Hokuriku Diversifying Glass Art

- 展覧会名 北陸のガラス作家たち：多様化するガラス造形
会 期 2018年2月17日（土）— 3月25日（日）
会 場 富山市ガラス美術館 展示室1・2（2階）
出品点数 約50点
開場時間 午前9時30分～午後6時 ※初日のみ午後1時から開場
（金・土曜日は午後8時まで。入場は閉場の30分前まで）
閉場日 2月21日（水）、3月7日（水）、3月22日（木）
観覧料 一般500円（300円）大学生300円（200円）
○（ ）内は前売り・20名以上の団体 ○高校生以下は無料
※1 前売りは一般のみ ※2 本展観覧券で常設展もご覧いただけます
- 主 催 富山市ガラス美術館
後 援 北日本新聞社、富山新聞社、福井新聞社、北國新聞社

概要

本展では、富山、石川、福井の北陸3県で学び育ち、この地域を中心に活躍する12名のガラス作家たちを紹介いたします。

北陸は伝統工芸やモノづくりの風土が息づく地域ではありますが、現代ガラスを含む新しい造形分野にも目を向け、人材育成をはかり、新たな取り組みを試みている地でもあります。これは1980年代から今日に至るまで、ガラス関連施設として、制作工房や教育施設、美術館などが次々に整備され、国内外から多くのガラス作家たちが集まってきたことによるものです。

本展で紹介する作家たちも、この地で多くの出会いや修練を経て感性を培い、ガラスという素材が持つ様々な可能性を追求してきました。

彼らは常温で石のように固まっているガラスの量塊性^{りょうかいせい}と溶けたガラスの流動性を対比させたり、古くから用いられてきたガラスの技術を新しい発想の下に組み替えたりして、斬新な表現を成し遂げています。また、ガラスに様々な物質を溶かし込んで、物質が変化するプロセスを表現することや、自然現象が生み出す色彩を再現しようと試みることもあります。

あくなき探求心から生まれた北陸の作家たちの、独創的で多様な造形表現の成果をお楽しみください。

出品作家

いちかわあつし かわなべまさき きしもとこうへい こぐれのりかず さのようこ たかぎもとひで つもりひでのり ふじかけさち
市川篤、川辺雅規、岸本耕平、小暮紀一、佐野曜子、高木基栄、津守秀憲、藤掛幸智、
ヴァーツラフ・レザーチュ、やすだたいぞう やまのひろし よこやましようへい
安田泰三、山野宏、横山翔平（計12名、五十音順）

作家略歴

市川 篤 ICHIKAWA Atsushi

- 1963 東京都生まれ
- 1993 ファルマス芸術大学ファンデーション科(イギリス)修了
- 1997 ペンランド工芸学校奨学生(アメリカ)
- 1998 富山ガラス造形研究所造形科卒業
- 2002 金沢卯辰山工芸工房 ガラス工房専門員(～'07)
- 2007 金沢市に個人工房「STUDIO plus・G」設立
- 2017 アンギャンレバン市(フランス)にて現地映像作家と共同制作
- 現在 石川県在住

主な展覧会・受賞歴

- 2001 「第3回現代ガラスの美展IN薩摩」鹿児島県文化振興財団理事長賞／鹿児島
- 2004 「第4回現代ガラスの美展IN薩摩」大賞(グランプリ)／鹿児島
- 2005 「第2回現代ガラス大賞展・富山」特別賞(富山商工会議所会頭賞)／富山
- 2009 「第48回日本現代工芸美術展本展」現代工芸賞／東京
- 2011 個展、石川県西田幾多郎記念哲学館／石川
- 2015 「'15日本のガラス展～挑戦する現代ガラス～」黒木賞／山形
- 2016 「第3回金沢・世界工芸トリエンナーレ」入選／石川

主な所蔵先

富山市ガラス美術館／富山、徳田秋聲記念館／石川、さつま町ガラス工芸館／鹿児島

川辺 雅規 KAWANABE Masaki

- 1971 栃木県生まれ
- 1997 明星大学日本文化学部生活芸術学科卒業
ガラス工房エズラグラススタジオ勤務
- 2007 イードルス・エリオット工房(オーストラリア)勤務
- 2010 富山ガラス造形研究所助手
- 2013 富山ガラス工房勤務
- 2016 島根県出雲市に個人工房「ガラス工房 izumo」設立
- 現在 島根県在住

主な展覧会・受賞歴

- 2008 「第3回現代ガラス大賞展・富山2008」奨励賞／富山
- 2009 「第4回現代ガラス展 in 山陽小野田」大賞／山口
- 2009 “Ranamok Glass Prize Finalist”／オーストラリア
- 2012 「第5回現代ガラス展 in 山陽小野田」土屋審査員賞／山口
「第8回富山市美術展」大賞／富山

主な所蔵先

きららガラス未来館／山口、金津創作の森／福井、富山市ガラス美術館／富山
山陽小野田市文化会館／山口、常陸国出雲大社／茨城

岸本 耕平 KISHIMOTO Kohei

1983 兵庫県生まれ
2008 富山ガラス造形研究所研究科修了
2008 富山ガラス工房勤務
2011 富山市に「Kohei Glass Studio 凜」設立
2017 射水市に工房を移転
現在 富山県在住

主な展覧会・受賞

2008 「第3回現代ガラス大賞展・富山2008」特別賞(富山商工会議所会頭賞)／富山
2008 「VESSELS 第4回 KOGANEZAKI・器のかたち・現代ガラス展」入選／静岡
2010 「国際ガラス展・金沢2010」ウィリアム・ダグラス・カールソン賞／石川
2011 「第4回現代ガラス大賞展・富山2011」入選／富山
2012 「VESSELS 第5回 KOGANEZAKI・器のかたち・現代ガラス展」黄金崎グランプリ／静岡
2016 「国際ガラス展・金沢2016」ヤン・ゾリチャック賞／石川
2017 「素材の息吹-発展する工芸のかたち-」黒部市美術館／富山

主な所蔵先

富山市ガラス美術館／富山、石川県能登島ガラス美術館／石川、黄金崎クリスタルパーク／静岡、
樂翠亭美術館／富山、在中国日本国大使館／中国

小暮 紀一 KOGURE Norikazu

1966 千葉県生まれ
1990 武蔵野美術大学造形学部工芸工業デザイン科卒業
1994 富山ガラス造形研究所造形科卒業
1995 富山市に個人工房「蜻蛉玉 丙午」設立
2002 武蔵野美術大学造形学部工芸工業デザイン科特別講師 (～'10)
現在 富山県在住

主な展覧会・受賞歴

1998 “The Glass Art Society’s 28th Annual Conference”デモンストレーション／愛知
1999 「第三回竹塹国際玻璃藝術節」招待作家、竹林市立玻璃工藝博物館／台湾
2000 南ソウル大学にてデモンストレーション／韓国
2001 TV 東京「テレビチャンピオン ガラス職人選手権」準優勝
2005 “The Glass Art Society’s 35th Annual Conference”デモンストレーション／オーストラリア
2013 「アートフェア富山2013・アートアワード」ガラス部門準グランプリ／富山

佐野 曜子 SANO Youko

1962 東京都生まれ
1985 成蹊大学文学部英米文学科卒業
1991 能登島ガラス工房制作スタッフ(～'98、'95～'96留学のため休職)
1996 オーストラリア国立大学キャンベラ美術学校ガラス科大学院修了
1998 富山市に個人工房「Glass Studio SANOSANO」設立
現在 富山県在住

主な展覧会・受賞

2002 「第3回清州国際工芸ビエンナーレ」銅賞／韓国
2008 「第26回朝日現代クラフト展」奨励賞／大阪、神奈川県
2008 「第55回日本伝統工芸展」NHK 会長賞／東京など全国12箇所巡回
2009 「第48回日本伝統工芸富山展」富山支部賞高岡市美術館／富山

主な所蔵先

オーストラリア国立大学キャンベラ美術学校／オーストラリア、ナショナルアートグラスコレクション、シティーアートギャラリー／オーストラリア、富山市ガラス美術館／富山

高木 基栄 TAKAGI Motohide

1984 愛知県生まれ
2007 愛知教育大学造形文化コース卒業
2010 富山ガラス造形研究所造形科卒業
2013 金沢卯辰山工芸工房修了
現在 石川県在住

主な展覧会・受賞歴

2011 「第26回石川の現代工芸展」大賞、金沢21世紀美術館／石川
2012 「現代茶湯アワード式〇壺式」グランプリ／東京
個展「高木基栄ガラス展-glamorous glass-」クラフト広坂／石川
2013 「二十億光年の孤独」金沢アートグミ／石川
2014 「美の予感2014-Metamorphose-」高島屋画廊(京都、大阪、名古屋、新宿、日本橋)
2015 「世界工芸コンペティション・金沢2015～茶の時空間～」現代創意賞／石川

主な所蔵先

名古屋市立工芸高等学校／愛知、常陸国出雲大社／茨城

津守 秀憲 TSUMORI Hidenori

1986 東京都生まれ
2012 多摩美術大学美術学部工芸学科ガラスプログラム卒業
2012 Pilchuck Glass School Summer Program 受講(講師 De La Torre Brothers)
2014 富山ガラス造形研究所造形科卒業
2017 金沢卯辰山工芸工房修了
2017 富山ガラス造形研究所助手
現在 富山県在住

主な展覧会・受賞歴

2013 「美の祭典 越中アートフェスタ2013」立体部門優秀賞、北日本新聞社賞／富山
2015 「第6回現代ガラス展 in 山陽小野田」三輪審査員賞／山口
2016 「国際ガラス展・金沢2016」銀賞／石川
個展「存在の痕跡 -津守秀憲」西福ギャラリー／東京
2017 「第3回金沢・世界工芸トリエンナーレ」ロナルド・ラバコ審査員特別賞／石川

主な所蔵先

Four Seasons Hotel／韓国、国際第二次世界大戦博物館／アメリカ、福岡空港／福岡、
石川県能登島ガラス美術館／石川

藤掛 幸智 FUJIKAKE Sachi

1985 愛知県生まれ
2005 秋田美術工芸短期大学工芸学科卒業
2006 愛知教育大学教育学部造形文化コースガラス専攻科目等履修生修了
2009 瀬戸市新世紀工芸館ガラス工房研修生修了
2012 金沢卯辰山工芸工房研修生修了
2014 瀬戸市新世紀工芸館勤務
現在 愛知県在住

主な展覧会・受賞歴

2012 「第5回現代ガラス展 in 山陽小野田」渋谷審査員賞／山口
「VESSELS 第5回 KOGANEZAKI・器のかたち・現代ガラス展」奨励賞／静岡
2013 「国際ガラス展・金沢2013」奨励賞／石川
“TALENTE 2013 International Handwerksmesse”／ドイツ
2015 “ART MIAMI 2015”／アメリカ
2016 “TEFAF MAASTRICHT 2016”／オランダ
国際ガラス展・金沢2016」金賞／石川
2017 “TEFAF New York SPRING”／アメリカ
“YOUNG GLASS 2017”／デンマーク、スウェーデン、イギリス巡回

主な所蔵先

アレクサンダー＝トウセック財団／ドイツ、レッテガラス美術館／ドイツ、
ヴィクトリア&アルバート美術館／イギリス、黄金崎クリスタルパーク／静岡

ヴァーツラフ・レザーチュ Václav ŘEZÁČ

1977 マリアーンスケー・ラーズニェ(チェコ、旧チェコスロヴァキア)生まれ
1991 ジェレズニー・プロトガラス学校(チェコ、旧チェコスロヴァキア)入学(～'95)
1995 プラハ・アカデミーガラス研究室(チェコ)でウラジミール・コペツキー教授に師事
2006 ペレホフのキャスト工房 Lhotsky studio(チェコ)勤務(～'16)
2016 富山ガラス造形研究所准教授
現在 富山県在住

主な展覧会・受賞歴

2008 “European Glass Context 2008”／デンマーク
2009 “Connections 2009”ギャラリーマーネス／チェコ
2011 “In search of Glass”プラハ国立美術工芸博物館／チェコ
2012 Academy of Art and Design, Center for Applied Arts, Innovation Center／ポーランド
2013 “UMĚLECKÁ BESEDA-150 years anniversary”ギャラリーエヌ／チェコ
2015 “Glass Fest”／チェコ
“SOFA Chicago”／イリノイ州、アメリカ
“ART MIAMI 2015”／フロリダ州、アメリカ

主な所蔵先

プラハ国立美術工芸博物館／チェコ、東ボヘミア博物館／チェコ、ジェレズニー・プロト市立博物館／チェコ

安田 泰三 YASUDA Taizo

1972 兵庫県生まれ
1993 富山ガラス造形研究所造形科第一期卒業
1994 富山ガラス造形研究所研究科第一期修了
1994 富山ガラス工房初代スタッフ(～'97)
1997 富山市に個人工房「Taizo Glass Studio」を設立
2014 「TAIZO GLASS STUDIO 株式会社」を設立
現在 富山県在住

主な展覧会・受賞歴

2001 「ガラスの魅力展」姫路市立美術館／兵庫
2004 「第2回現代ガラス展 in おのだ」入選／山口('06、'13)
2004 「第51回日本伝統工芸展」入選／東京など全国11箇所('07)
2005 「第10回日本のガラス展」／東京など巡回('08、'12、'15)
2007 「現代ガラス展 光の造形・その技法」道後ぎやまんの庭美術館／愛媛
2008 ローマ賞典祭「北陸の工芸・現代ガラス工芸展」ローマ日本文化会館／イタリア
2008 「大一美術館 第1回現代ガラス大賞展2008」優秀賞、大一美術館／愛知
2013 「伝承&革新 第三回日中韓著名芸術家作品展」招待出品、上海藝術礼品博物館／中国('14)

主な所蔵先

上海藝術礼品博物館／中国、富山市ガラス美術館／富山、樂翠亭美術館／富山

山野 宏 YAMANO Hiroshi

1956 福岡県生まれ
1981 中央大学文学部史学科卒業
1982 カリフォルニア単科美術工芸大学入学
1984 東京ガラス工芸研究所卒業
1989 ロチェスター工科大学大学院美術科ガラス工芸専攻修了
1991 山梨県大月市に「エズラガラススタジオ」設立
1998 「金津創作の森ガラス工房エズラガラススタジオ」設立
2003 大阪芸術大学工芸学科助教授
2006 大阪芸術大学工芸学科教授
現在 福井県在住

主な展覧会・受賞歴

1991 「ラコウ・コミッション」コーニングガラス美術館／アメリカ
1993 「第6回'93日本のガラス展～ガラスの鼓動がきこえる～」朝日新聞社賞／東京、大阪、福岡、アメリカ
1997 個展、HELLER GALLERY／アメリカ('00)
1999 個展、MARX SAUNDER'S GALLERY／アメリカ

主な所蔵先

コーニングガラス美術館／アメリカ、ウィートンアーツ アメリカ・ガラス美術館／アメリカ、
クライスラー美術館／アメリカ、富山市ガラス美術館／富山

横山 翔平 YOKOYAMA Shohei

1985 岡山県生まれ
2008 大阪芸術大学工芸学科ガラス工芸コース卒業
2008 大阪芸術大学非常勤副手
2014 金沢卯辰山工芸工房修了
2014 富山ガラス造形研究所助手
現在 富山県在住

主な展覧会・受賞歴

2012 個展「呼吸」ギャラリー一点／石川
2013 「国際ガラス展・金沢2013」審査員特別賞／石川
2015 個展「静を孕む」GALLERY 忘我亭／長野
2015 「第6回現代ガラス展 in 山陽小野田」市長賞／山口
2017 「素材の息吹-発展する工芸のかたち-」黒部市美術館／富山

主な所蔵先

石川県能登島ガラス美術館／石川

| 関連プログラム

■ 出品作家によるアーティストトーク

2月17日（土） 午後2時～ 山野宏

3月17日（土） 午後2時～ 市川篤

午後3時～ 横山翔平

会場 富山市ガラス美術館2階 ロビー、展示室1・2

■ ライブラリー&ミュージアムコンサート

北陸のガラス作家たちにちなんで、北陸ゆかりの作品や心に響くことばを音楽にのせてお届けします。

3月24日（土）午後1時30分～（1時間程度）

出演者 野上聡子、奥田知絵、中崎圭子

会場 富山市ガラス美術館2階 ロビー

■ 学芸員によるギャラリートーク

2月24日（土）、3月10日（土）3月24日（土）

各回午後3時から

会場 富山市ガラス美術館2階 展示室1・2

○関連プログラムはいずれも事前申込不要・参加無料。

ただし、展示室への入場には本展観覧券をご提示下さい。

○日時は都合により変更となる場合があります。

最新の情報は富山市ガラス美術館のウェブサイトをご確認ください。

<http://toyama-glass-art-museum.jp/>

| 出版刊行物

展覧会カタログ「北陸のガラス作家たち：多様化するガラス造形」

2018年2月17日発刊（予定）

デザイン：彼谷雅光（ナチュラル・デザインスタジオ）

取り扱い：TOYAMA キラリ（富山市ガラス美術館）2階ミュージアムショップ

| 広報用画像

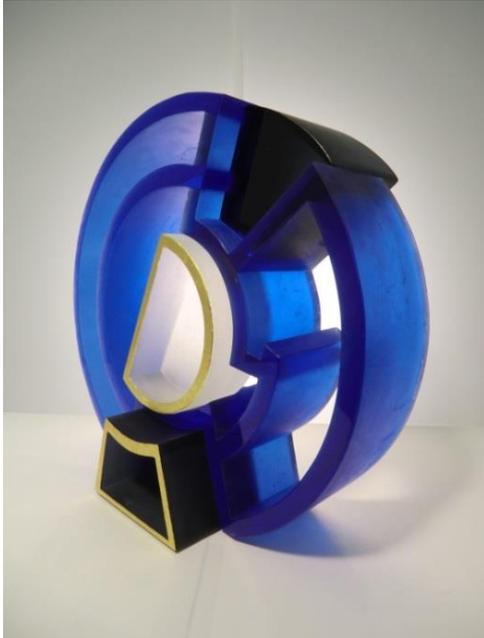
画像1-5を広報用に貸出しいたします。

ご希望の方は、11pの画像貸出し申請書の使用条件をご確認いただき

EメールかFAXにて富山市ガラス美術館広報担当へ申請書をお送りください。

E-mail：bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp FAX：076-461-3310

| 出品作品（一部）



1 市川篤《月影の軌道》2016年 作家蔵 撮影：市川篤



3 佐野曜子《織の大鉢》2015年 作家蔵 撮影：佐野猛



4 津守秀憲《時の狭間 '15-1》2015年 作家蔵



2 安田泰三《虹色パルーン》2017年 作家蔵

撮影：岡村喜知郎



5 川辺雅規《Cocoon～明日への想い～》2013年 作家蔵 撮影：川辺雅規

年 月 日

(宛先) 富山市ガラス美術館長

担当者： _____

Tel： _____ Fax： _____

E-mail： _____

住所： _____

団体名： _____

富山市ガラス美術館 画像貸し出し申請書

次のとおり、掲載用素材として企画展「北陸のガラス作家たち：多様化するガラス造形」の画像を申し込みます。

1. 掲載（放映）媒体名： _____

2. 媒体種別：TV 新聞 雑誌 フリーペーパー 電子書籍 WEB サイト 携帯媒体
その他（ _____ ）

3. 掲載の趣旨
別紙のとおり（媒体資料を添付してください） _____

4. 掲載（放映）日時： _____

5. ご希望の画像番号： _____

○作品に文字やほかのイメージを重ねることはできません。また、縦横比の変更やトリミング、キャプション等の文字が写真にかぶらないようご配慮をお願いします。

○作品掲出には指定するキャプションを必ず入れてください。

○作品画像の2次使用はご遠慮ください。

※同一記事の再掲載や再放送等については再申請が必要となります。また、画像が使用できる期間は展覧会期間内のみとなります。

○商品のPR等の商業利用に関しては画像の提供は出来ません。

○校正ゲラの段階で情報の確認をさせていただきます。

○記事が掲載された場合はDVD、掲載紙、誌を一部ご寄贈いただきますようお願いします。

申請書送付先：富山市ガラス美術館広報担当 E-mail: bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Fax：076-461-3310